

世界最高品質の仕上がりを 実現するグリーンモア

世界最高品質の刈り上がりは、 いかにして生み出されたか？

日本一を決める 2010 年日本プロゴルフ選手権（パサージュ琴海アイランドゴルフクラブ：長崎）や、アメリカ女子ゴルフツアー HSBC 選手権で宮里藍選手が 2 戦連続優勝を達成したコース（タナメラ CC：シンガポール）のグリーンを仕上げた、ウルトラハイカット芝刈り機グリーンモアを紹介する。



近年のゴルフブームによって、グリーンキーパー・プレーヤーが求めるグリーンの精度はさらに増してきている。今回開発したグリーンモアは、そのすべての要求を網羅したほかには類を見ない世界の株式会社 IHI シバウラ（ISM）の歩行型グリーン刈り込み機械「ウルトラハイカットグリーンモア」G-EXE シリーズである。

G-EXE シリーズは、国内はもとより海外のどのメーカーにも負けない、次のような特長をもっている。

(1) 世界最軽量

G-EXE シリーズは、世界最軽量の 78 kg を実現。これによって、沈み込みによる芝へのダメージを大幅に軽減でき、より均一な刈り込みを提供できる。

また、軽量のため取り回しがきき、使い勝手も良くなっている。

(2) アンジュレーションに優れた追従性

歩行型グリーンモアは、前後のローラによってグリーンを走行し、ローラの上に配置されたリールで芝を刈り込む。すなわち、リールと後部ローラの軸間ピッチが狭ければ狭いほどアンジュレーション（グリーンの起伏）に追従できる。G-EXE シリーズは、この軸間ピッチが 178 mm と世界一狭いピッチになっている。

(3) カットピッチの選択が可能

カットピッチとは、作業中リールの刃で芝をカットしてから、次の刃でカットするまでに進む距離をいう。カットピッチが狭ければ狭いほど、芝を均一

に刈り込むことができ、グリーンスピードも速くなる。G-EXE シリーズは標準機としては世界最小のカットピッチの 3.5 mm を実現した（11 枚刃，車速 LOW 時）。

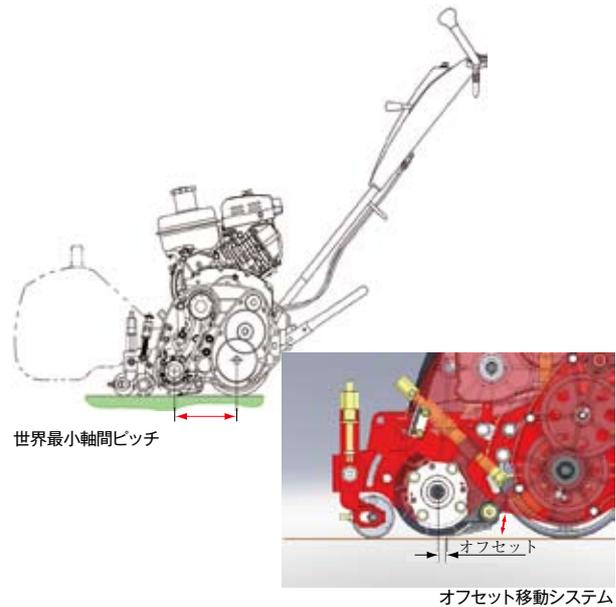
しかし，各ゴルフ場，グリーンキーパの考え方は同じではない。カットピッチが広く，グリーンスピードも遅い方が，プレーヤの回転率が上がり収益性が良くなるといった考え方もある。G-EXE シリーズは，グリーンキーパのどんな考えにも対応できるように，カットピッチを 4 段階から選択可能とした。刈り込み速度を 2 段階，リールの回転速度を 2 段階で切り替えることによって，カットピッチを 3.5 mm, 4.5 mm, 5.1 mm, 6.5 mm の中から選択でき，オールマイティな刈り込みが可能である。

(4) オフセット移動システム

リールモアとはリールと下刃のすり合わせによって芝を刈る機械である。このすり合わせの前後方向の位置関係をオフセットという。つまり，リールのセンタからリールと下刃のすり合わせ位置（刈り取り位置）までの前後方向の距離のことである。

このオフセットは各メーカーによって大きく異なり，刈り込みの特徴を左右する。例えば，オフセットが大きいとリール位置が下がるため，芝の巻き込み量が多くなり喰い込みがちになる。セット刈り高さよりもかなり低く刈れる，刈り取り量が多い，カジリ気味になる，刈り上がりが良い，芝目を形成しにくいなどの現象が起こる。これとは逆に，オフセットが小さいとリールの位置が上がるため，芝の巻き込み量が少なくなり喰い込みが悪くなる。セット刈り高さとはほぼ同等で刈れる，刈り取り量が少ない，カジリが起きない，砂を巻き上げない，モーイングストライプがはっきり出るなどの現象が起こる。

G-EXE シリーズでは世界に先駆け，部品（下刃・下刃台）を交換することなく，簡単な操作でオフセットを移動するシステムを装備した。リール



モア，ベアリングホルダ，下刃台，下刃をすべてアセンブリ化したことによって，リールセンタを基準に回転させ，オフセットを無段階に調整できる。これによってグリーンのあらゆる状況に対応でき，オールマイティな刈り込みが可能となった。

(5) グルーミング・サッチング方式にデビルカッタを採用

グリーンモアには，前ローラとリールの間に別作業機を搭載した仕様がある。これは，グルーミングやサッチングと呼ばれ，リールよりも速い回転速度で，芽引き・サッチ除去などを行う。カッタは 40 枚から 90 枚で構成され，その形状によって，耐久性・切れ味などが変わる。G-EXE シリーズはこのカッタの形状を一から見直し，「芝を持ち上げながらカットする」デビル刃（イチョウの葉の形状）を採用した。

新歩行型グリーンモア G-EXE シリーズは，今後数多くのトーナメントコースで活躍が期待されている。ISM はこれからも，ゴルフ場の発展，さらなる G-EXE シリーズの進化のため，使い手の立場に立った設計を追求していく。



問い合わせ先

株式会社 IHI シバウラ

トラクタ・グリーン事業部 営業部

電話 (0263) 25 - 4502

URL : www.ih-shibaura.com/